



2011年9月報

Vol. 431

9月1日発行

発行者・横田恵子
 編集者・丸尾欽造

主 題	2011 - 2012 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際		
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田恵子	
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む	To walk together, echoing each other	部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)	
	“ContributetotheCommunitythroughActiveServiceswithLove”		
々 副 題	理想を目指して変革と行動		
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”		
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)		
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」		
スローガン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」		
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)		
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」		

今期メネット会長をお受けして



メネット会 会長 伊藤 玲子

メン、メネットの皆さんのお支えで皆様のご期待に添うように努力したいと存じます。

就きましては前メネット会長の大藪様の掲げられたテーマを引き継ぎたい と思います。(ブリテン8月報ご参照) 特に今期メネット事業は大震災復興支援に尽きと思います。

- 1) 西日本区のYMCAが派遣するリーダーの経費の補助でボランティアがより活発に活動できるように支援する。
- 2) YMCAが主催する被災地から避難した子供たちの心のケアを目的としたリクリエーション活動、キャンプなどへのリーダーの派遣に補助。
- 3) 恒例となりました長崎へのペンギン作りも4年目になりましたが東北の震災の復興にも祈りを込めてペンギン10束、5、000羽を現地に送るのを年間行事としていきたい と思います。

上記しました事柄を皆様のご意見を伺い平和への思いを込めてメネットの皆さんとの交わりを深めクラブへのささやかなご奉仕を皆様と共にさせて頂くように続けることができれば感謝の一言に尽きます。

[今月の聖句] コリントの信徒への第一の手紙9章26節
 「だから、わたしとしては、やみくもに走ったりしないし、空を打つような拳闘もしません」



ワイズ運動の原点に立って、会長が示す年度方針と活動目標をしっかりと認識し、効率の良いクラブ運営を心がけましょう

【9月例会プログラムご案内】 ●

日時：9月15日(木) 18:30~20:30

会場：サンホーム 6階

強調月間 “MENETTE”

- | | |
|---------------|-----------------|
| 司 会 : | 中野義彦 君 |
| 開会点鐘 : | 会長・横田恵子さん |
| ワイズソング : | 一 同 |
| 聖句朗読 : | 佐古至弘 君 |
| ゲスト・ビジターご紹介 : | 司 会 者 |
| 会長の時間 : | 会長・横田恵子さん |
| 食前感謝 : | 佐古至弘 君 |
| 食事 : | 今月のアレンジ 田中惟介 君 |
| インフォメーション : | 当該者 |
| ゲスト・スピーチ : | 恵美奈博光氏 (大阪サウス) |
| | 「アウンサンスーチさんのお話」 |
| 誕生日お祝い : | 会長・横田恵子さん |
| にこにこアワー : | みなさん |
| YMCAの歌 : | 一 同 |
| 閉会点鐘 : | 副会長・宮本桂子さん |

8	月	例	会	報	告
---	---	---	---	---	---

報告:丸尾 欽造

日時:8月28日(日) 14:00~17:30

会場:サンホーム 6階

- 出席者: メン 伊藤圭介、大谷美佐子、尾北 昇、加藤寿枝、佐古至弘、新本英二、正野忠之、杉村 徹、田中惟介、藤井敬子、丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、芳澤伸之、横田憲子
- メネット 伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、正野佐貴子、初田真佐子、丸尾初子、望月治子
- ビジター 今井利子(大阪なかのしま)、奥田時夫(大阪土佐堀)、三木 求(和歌山)、山口肇(大阪サウス)、増石広之(大阪ヴェクセル)
- ゲスト ネメシュ・ノルベルト、仁美、瑛花、瑛凜、吉島幸代
- ファミリー 横田允宏、門田 敦、登紀子、沙希、涼、増石敦志、香苗、なごみ、ゆたか
- YMCA 鈴木えみ、佐藤 悠、川合文太
- リーダー 野村有紗、酒井友梨子

以上46名

第1部と第2部に分けられた「納涼例会」と銘打ってはいるが、夏定番の従来型ではない新しい試みの例会だった。昼さがり2時~5時の例会ゆえ、食事は準備されていません。そして、パティシエ吉島幸代さんによるケーキ作りが例会最中に別室で行われていて、できあがってからいただくという仕組み。定刻になってもみなさんどことなく落ち着かない様子で、少し遅れて第1部・例会が始まる。司会者も例会の流れの舵取りに苦労されていた。チビッコが集まってきてくれたのは久しぶり。

横田憲子会長の開会の辞では、BF代表への積極的な応募を訴えられ、BF資金貢献度の高い西日本区、ノルウェーでオゼルキ・クラブとの交流を是非実現してくださいと、アピールされた。また、東日本大震災支援プログラムに取り組まれている東YMCAに、震災支援チャリティショップの売上金から5万円が鈴木えみ所長に贈呈された。今後も継続される。そして正野忠之君、佐貴子さん夫妻に先日の結婚式のアルバムが手渡され、あらためてみなさんの拍手で祝福された。

今年の「ジャガイモ」販売への取り組みについて、望月強君から新しい企画方針の説明があり、協力を要請された。産地と品種が変わる予定。時間の合間を、今井利子さんが、前日の「受賞祝賀会」の感想を述べてくださった。ケーキ作りもほぼ終わられた頃、第1部は閉会し、第2部への準備のためのブレイクとなった。

第2部の開始。新本英二君の食前感謝が素晴らしかつ

た。感謝と喜び、優しさにあふれ、子どもさんに語りかける平易な言葉。自然体で祈った。デコレートされたシフォンケーキがカットされ、それをメインにいくつかの菓子など、それぞれがテーブルに運ぶ。メネット制作のフルーツポンチもそのわきに。男性諸君もソフトに見えるから不思議。何ともメルヘンチックな憩いの時間、美味しくいただいた。

お待たせしてしまったゲストスピーカーにバトンが渡される。「ハンガリーとルーマニア」のお話。スピーカーのネメシュ・ノルベルトさんはルーマニア出身の若い方。奥さまの仁美さん、お二人の子どもさんとのご出席。流暢な日本語と準備された映像に助けられてすばらしいプレゼンテーションに引き込まれた。ブダペストとブカレストが入り混じって、カタカナ都市理解にエネルギーを消費したご仁も多かったのではと思う。日本人には、無意識の中でマイナーな存在であろう東欧。民族の成り立ちの裏側を垣間見ることができた。コマネチやドラキュラの存在は知っていても、科学者や発明品の多いことなどに意識を新たに



美味しいケーキ



ケーキを作る吉島さん



ハンガリー語はアジア系の言語であり、日本語にも似かよった傾向があると、ネメシュさんのお話でした



ネメシュさん家族と横田さん家族は近所だそうで、

氏(右端)は阪大で宇宙地球科学を専攻、博士課程を修了された。現在、ソフトウェア開発技術者として会社勤務

した。周囲を他国に囲まれる国には永い歴史の中で戦争や侵略など、民族、言語、文化、政治など、複雑に入り混じり影響を受けて近世現代に至る背景は、島国民族の感覚では理解するには程遠い何かがある。聴かせていただいても興味深い。じっくり聞かせていただく価値ある講話と言いたい。書ききれない部分を省くことをお許しいただき、氏の再来を望みたいものである。

オークション。競売に適切な品をご提供いただいたお陰で完売。財布の紐を緩めていただいたメネットのみなさん、そしてピジターのみなさんに感謝。閉会時刻が予定より30分遅れたのはやむをえなかったのではと思う。

(オークションの詳細については、5頁に掲載)



オークションの風景・ご協力に感謝して完売！！

第37期 8月役員会 議事録

書記：芳澤伸之

2011年8月25日(木) 19:00~20:30 東YMCA
出席者：横田・大谷・宮本・望月・芳澤・藤井・
中野・伊藤・正野・加藤・杉村・丸尾

9月例会 9月15日(木) サンホーム
B班担当(中野・大谷・田中・佐古・畠平・大藪)
ゲスト 恵美奈 博光 様(大阪サウスクラブ)
仮題：「ミャンマーでのボランティア談議第二弾」

9月例会役割分担
司会・中野 君、 聖句朗読・佐古 君
食事手配・田中 君、 食前感謝・佐古 君
ニコニコ・田中 君& 当日メネット
受付・会計 田中・藤井 君
音楽担当・会計兼任

10月号ブリテン原稿
9月例会報告 畠平 君
9月例会にこにこテープ起し 大谷 君
役員会報告 芳澤 君
Yニュース 鈴木えみ さん
サンホームニュース 尾北 昇君
巻頭言 新本英二 君
原稿締切は 9月25日です

審議事項・報告・連絡事項

《審議事項》

1. 納涼例会準備・進行

河内クラブのメンバーはPM12:30集合・準備開始する

リーダー等の人数は把握出来ていないが最終まで詰める

ゲストスピーチはネメシュ・ノルベルト氏(ルーマニア)によるルックワールド“東欧あれこれ”ティーパーティー形式とし宮本ワイズ紹介のパーティシエが腕を振るう

2. 9月例会

上記の通り

3. 10月例会ゲストスピーカー

Cグループ担当

広報主査より例会スピーカーが決まったら報告してほしい旨連絡あり

10月例会のゲストスピーカーはノルディックウオークに関する卓話の方向で調整する

4. ジャガイモ・かぼちゃファンドに関して

望月プロジェクト委員長より販売計画A案・B案の提案があり検討する

今年は仕入先を十勝から変更する

購入数量を5トンまたは10トンにするかは今後の検討事項とする

5. EMCに関して

河内クラブ会員増強に向けて EMC プロジェクトチーム結成する(大谷・望月・田中・芳澤)

新リーフレット作成今後検討する

6. 10月10日チャリティーランの出場チーム数・ラッフル券3枚セット15人分・おにぎり購入昨年同様

出場2チーム(サンホーム・ウェルネス)

《予定事項》

1. 大阪YMCA東日本大震災支援プログラム支援金
今期から始めた震災支援チャリティーショップで義援金5万円集まる。8月例会にて贈呈する

2. 10月次期副会長候補選出

大谷幹事長以下幹事が候補選出に動きだすこと決定

《確認事項》

1. 9月23日(祝金)南YMCA 11:30部会・10:00合同メネット会出席者名確認
2. 西日本区・阪和部費前期納付完了

《報告》

1. アジア大会に出席して
望月ワイズより大会の様子をご報告いただく
2. NPO法人「輪」の遠足補助ボランティアについて
10月15日(土)京都・太秦映画村
今年はバス2台を確保できたので是非ともワイズの協力の依頼有

3. 第二例会の方向性について

丸尾ブリテン委員長より第二例会をもっと有効利用できないか検討してほしい旨の提案

今期よりブリテン発送をメール便で行っているため短時間で済む

第二例会の位置づけを確立していく必要がある

以上

〈〈温故知新〉〉 ②

東大阪の地にY M C Aが設立されるに至った背景には、様々なリサーチを経て、その地域社会と青少年への働きに使命感を見出し、それまでの南Y M C Aの活動範囲から東大阪市の地に根拠を置く必要に至り、今日に至る一粒の種がまかれる必然性があった。今回は、その背景に及ぶ活動着手への軌跡を「東大阪地域におけるY M C A活動の歩み」からご紹介する。

東大阪地域活動に着手 1970年代初頭に東Y M C A設立構想

南Y M C Aでは、昭和39年(1964年)より開始された幼児から小学生対象のフィットネス・プログラムの経験と実績を生かし、「いつでも、どこでも、だれでも」が参加できる体育活動「体育をみんなのものに」をモットーに、幅広い総体としての人間教育の活動の展開を目指して大きな成果をあげていた。

1970年代に入ると、全国的にY M C Aの地域活動のあり方が検討されるなかで、大阪南Y M C Aは、昭和47年(1972年)5月、「地域活動委員会」を運営委員会のもとに設置、委員長に三好博、委員に森泰、岩田洋一、恵美奈博光、出来成人を選任、Y M C Aの地域活動における理念研究に着手する一方、東大阪地域における調査研究を行うと同時にY M C Aの体育、野外活動の理念に基づき実験的プログラムを開始した。

東大阪市の歴史は浅く、昭和42年(1967年)布施市、河内市、枚岡市が合併され、新しく出来た市である。当初の人口は60万人で、特に旧枚岡市(瓢箪山生駒)は、大阪のベッドタウンとして人口が急激に増加しつつあり、東大阪全体では、昭和35年頃から毎年2~3万人ずつ人口が増加していた。それに伴って幼稚園、小学校などが新設され、他市と比べて人口の割には、公立施設(市民会館、体育館、公民館、プール等)は立派なものを有していた。

またスポーツ少年団や子供会などに登録されている子ども達の数は多いが、指導者不足に悩んでいた。公害の問題では、尼崎や大阪市から出されたオキシダントが東大阪市の中心をおおい、度かさなる光化学スモッグの発生により児童たちの健康を害し、運動する機会を奪っていた。

一方、ソロバン塾、学習塾、英語塾などは非常に多く、各塾とも盛況を極めているという状況であった。その他各種の調査を実施した結果、東大阪地域における幼児、少年たちの健康教育に関わる問題は、極めて重要かつ緊急を要することが分かった。

東大阪地域における体育活動の開始

このように都市化現象の渦中にある東大阪市の人口増

加、熱の乱立、光化学スモッグの多発などにより東大阪市に住む子どもたちの不健康、運動不足が目立ち、健康づくりの必要性が大であることに着目、また幼稚園関係者の健康、体育に対する関心の高さと、研究の機会がほとんどないこと、南Y M C Aに東大阪地域から過去にたくさんの方々が来ていることなどを合わせ考えた結果、幼児、少年、ファミリーなどの居住区域を中心としたなかで、地域ぐるみの体育活動、健康のための基礎体力づくり運動の日常化を促進するためのプログラムを行うことになった。

これよりさき、南Y M C Aでは、昭和46年に近鉄奈良線小阪駅前にある樟蔭幼稚園の協力を得て、幼児、母子のための体育教室を実験的に実施しており、その成果が実りつつあった。そこで、昭和47年(1972年)に至り、東大阪市の幼稚園連合会、東大阪市などに呼びかけ、体育プログラムのできる施設の提供協力を依頼したところ、多くの協力を得ることができ、最終的に樟蔭幼稚園、東大阪市立中央体育館、東大阪市立東体育館の3か所の施設を定期的に借用することが出来ることになったのである。これらの施設借用に際しては、特に樟蔭幼稚園主任田中千鶴子女士(樟蔭女子大学教授)及び子どもたち父兄の協力が大きかった。

また、これら3か所での体育活動推進に伴い、東大阪でのY M C A連絡事務所が必要となり、これまた父兄の協力により、同年3月取りあえず、東大阪スタジアムの一室を仮事務所に借用、翌4月16日八戸ノ里マンションの一室(8坪)を借用移転、「東大阪Y M C A事務所」を開設、PR活動会員募集を開始したのである。

こうして東大阪地域における体育プログラムは、昭和47年(1972年)4月から樟蔭幼稚園、東体育館、中央体育館で、それぞれ定期プログラムを開始したのである。

初年度の会員数は、幼児129名(4~6歳)、少年153名(小学4~6年)、婦人46名、合計328名であり、幼児体育、少年体育、婦人体育、母子体育の各クラスが開設された。その指導には、主事伊藤俊彦を中心に専門指導者、ボランティア・リーダーら25名があたった。

また定例プログラム以外に、毎月1回の特別例会として、なわとび大会(5月・於東体育館250名)、ファミリーハイキング(6月・生駒山150名)、ハイクバル(10月・六甲山270名)、キャンプファイヤー(10月500名)などの野外活動を実施し、夏季には阿南ファミリーキャンプ(90名)、幼児水泳教室(60名)、幼児キャンプ(56名)、小学生フィットネス・キャンプ(62名)を実施したが、これらのニーズが非常に高く、4つのプログラムとも、受付開始と同時に締め切らざるを得なかったほどである。このように昭和47年の上半期は、日常プログラムの実施に全力投球し、子どもや父兄に満足のいくプログラムを実施することに主眼を置き、下半期からは地域性を十分に理解しながら他団体との協力体制の促進をはかった。具体的には、子供の身近にいる母親を対象に、毎月1回「母親の会」を実施、幼稚園体育研究

会（公立、私立幼稚園とYMC Aの共同プロジェクト）の実施、また市教育委員会の協力を得て市民クリスマス東体育館で開催、これには、東大阪市PTAママさんコーラスの協力出演などがあり、他団体、地域の協力体制が徐々にできあがっていった。冬期には、赤倉スキー場でファミリースキースクール（1月、3月とも45名）、幼児ウインターキャンプ（能勢65名）、小学生ウインターキャンプ（奈良85名）など実施した。

「母親の会」の運営は、日常、母子体育クラス、幼児体育クラス、少年体育クラスに参加している会員の母親の中から、7名の委員（西本貴美子、西田貴江、今尾裕美、大辻貞子、大倉慶子、倉橋千賀子（後に河内クラブメネットとなる）、沢田晃葉）を選出し、11月から3月まで毎月1回ずつプログラムを企画実施したのである。

この委員会では、次の事項が確認された。（1）母親の会の運営は委員が中心となって行う。スタッフはそれを補助する。（2）母親の会は、東、中央体育館に分かれて月1回子供の集会の間に開催する。（3）内容はできるだけ体育教室、子供に関連したものであること。（4）会場は、東体育館は3階公民館で、中央体育館は体育館会議室で開催されることになった。

「幼児体育研究会」は、東大阪市の公立、私立幼稚園とYMC Aとの合同プログラムとして開催され、特に公立では教師のグループである安全教育部会の中で取り上げられ、私立では樟蔭幼稚園主任田中千鶴子女史をはじめ多くの教師たちの助言の中で実施された。内容的には、幼稚園における体育指導のあり方、プログラムの持ち方、安全についての全般的な研修会となった。研究会は11月6日、15日、12月4日の3回行われ、延べ80名の幼稚園教師が参加した。

開設初年度のスタッフ、リーダー体制は次の通りであった。

伊藤俊彦（主事）岡 和比古（専門指導者）、松崎みち子（事務職）、原 歌子（プログラム・リーダー）それに南YMC Aの応援スタッフとして井上幸信（専門指導者）、奥田妙子（専門指導者）が毎週1回ずつ加わった。大学生ボランティア・リーダー体制は次の20名であった。近藤喜代子、渋谷泰子、松本親夫、乾 三郎、井内淳子、一由美千子、佐谷光一、田畑耕一、安川智子、大谷悦子、佐古朋文、勝本博子、福山トミ子、笠井正宏、村上千恵美、村沢桂英子、中村早百合、西口雅純、吉田幸代、箕浦成容。（次号は「地域活動としての東大阪YMC A」）

8月例会「オークション」報告書

提供者	品名	購入者	売上額
新本	スイカ	今井	700
	なす	今井,三木,田中	900
藤井	針なしホッチキス	伊藤,大谷,宮本	1500
丸尾	マッコリー	三木,奥田,田中	1000
	玉葱	奥田他 4名	1200
宮本	カセットコーヒー	正野	1500
	そうめんつゆセット	望月	600
横田	佃煮昆布	伊藤	1200
	フォーション紅茶	宮本,丸尾,望月	3600
	ジャガイモ	大藪他 8名	1600
	々	横田	800
望月	サツマイモ	増石,大谷,大藪 初田,今井	2000
	洗剤	増石,大谷,宮本	1500
今井	小鉢セット	田中	300
	急須セット	新本	1000
三木	和歌山の焼酎	望月	1500
増石	切手	望月	2000
	缶ジュース	鈴木	500
青野	ミラクルクリーナー	初田,増石,新本 大藪	2000
	陶器 深皿	横田2望月,宮本	4000
伊藤	らっきょ漬け	奥田,大藪,横田	3000
	リュックザック	大谷	500
	ショルダーバッグ	新本	300
	バッグ	望月	500
岩坂	薩摩焼酎3本セット	丸尾	1500
	くず切りゼリー	田中	900
大谷	塗り箸夫婦セット	正野	500
	焼き海苔	伊藤	1000
大藪	赤ワイン	奥田	2000
	白ワイン	田中	2000
	天然洗剤	増石	300
尾北	にしん昆布巻き	望月	1000
	菓子	増石	600
加藤	帽子	望月,大藪	1000
	帽子 2	藤井	500
正野	焼き海苔	三木	800
	濃口醤油	横田	1000
芳澤	金山時味噌	田中	1000
	梅干し	丸尾	1500
初田	ワイン	伊藤	800
	リンゴジュース	田中	700
	菓子	今井,増石,望月	900
クラブ	飾り花 小 5個	加藤他 5名	2000
	飾り花 大 3個	増石,新本,望月	2100
		売上げ合計	55,800

「阪和部会」・「合同メネット会」ご案内

とき：2011年9月23日（祝・金）受付11時
開会 11時30分 閉会 14時30分
ところ：大阪南YMC A 4階ホール
会費：4000円 1部・式典 2部・会食と交流
3部・ピアノとトーク 佐野多由子
阪和部合同メネット会は、2階ライブラリーにて、
10時～11時に開かれます。

EMC 推進を願って

阪和部とアジア大会の会議に学ぶ

EMC 委員長 望月 強

【阪和部 EMC推進 委員会】

7月8日、大谷美佐子主査のもとEMC事業主任 大岩英人様をゲストに迎え大阪南 YMCA で開催されました。松本美恵子阪和部長を初め阪和部各クラブよりEMC委員の方々が集いました。大谷主査からドロップさせないクラブ作りを強調されました。大岩主任は温和で柔らかい口調でお話されるが、大変説得力がある方です。それもそのはず、42才の彼は25才で入会して、以来17名の入会者を入れ、現在14名が活躍中だとお聞きました。主任からの刺激を受け河内クラブも頑張ろう。



大岩事業主任を迎えて開かれた EMC 推進委員会

【アジア大会 EMCシンポジウム】

第24回 台湾アジア大会に参加しました。台北からハイウエーで2時間余り宜蘭と言う小都市で開催されました。大きなホテルですが、エントランスには垂れ幕、のぼりはなくシンプルでした。会場に到着するなりタイのアジア大会でお世話になりましたWichanが遠くから手招きされ再会の握手をしました。ご夫婦お揃いでしたので会場をバックに両夫婦で写真に収まりました。Wichanは今期のアジア会長に就任されました。又、伊藤さんとの親交の深い方でもあります。

開会式は荘厳な雰囲気で行われました。キャンドル入場に始まり各リジョンフラッグの行進、何度見ても身の引きしめる思いです。

過去の大会に参加していますが、何時もは余暇の観光に気持ちが入っていましたが、今回は真面目にEMCホーラムに参加することに決めていました。他の国の人達はEMCに如何なる取り組みをしているか興味がありました。EMCシンポはパワーポイントで一通りの説明があり、引き続き討議に入りました。そのパワーポイントにクラブを離れる原因は何かについて9項目が示されています。共通として言えるのは会員同士の仲違いが多いようです。日本では問題になりませんが宗教上でクラブを離れる人も多いようです。一人ミャンマー代表が発言されましたが、ミャンマーでは公に活動することは認められていませんが、数年後には軍事政権も軟化し民主化

西日本区各部・部会開催スケジュール

- ▼ 中 部 8月28日(日) 名鉄グランドホテル
ホスト・名古屋東海
- ▼京 都 部 9月11日(日) 福知山市
三段池公園体育館
ホスト・京都みやび
- ▼中 西 部 9月17日(土) Hクライオン新大阪
ホスト・大阪西
- ▼阪 和 部 9月23日(祝) 大阪南YMCA
ホスト・大阪サウス
- ▼西 中 国 部 10月 1日(土) 広島YMCA
ホスト・東広島
- ▼九 州 部 10月 2日(日) 霧島ホテル
ホスト・鹿児島
- ▼六 甲 部 10月 8日(土) 神戸市北区
しあわせの村
ホスト・学園都市
- ▼瀬戸山陰部 10月15日(土) 日本キリスト教団
岡山教会
ホスト・岡山
- ▼びわこ部 10月16日(日) クサツエストピアH
ホスト・草津

が進み、活動の道がひられる様子です。このEMCフォーラムには北村事務員が西日本区から持ってきたレシーバーと東日本区の青木メンの通訳がありましたので、活潑に議論される内容が理解できました。今期は我がクラブから大谷EMC主査を輩出しています、私はクラブのEMC委員長として頑張らなくてはなりません。会員増強は世界共通の目標であり課題でもあります。

観光はエクスカーションで宜蘭郷土博物館を見学しました、他にはホテル周辺を散策にとどまりました。ホテルの設備が良くジムでジャグジーと水泳を楽しみました。



ウイチャン夫妻と親交を深める望月夫妻 (アジア大会)

YMCAニュース

特別
寄稿

サンシャインキャンプ 報告

大阪東YMCA所長 鈴木えみ

今夏は大阪 YMCA ウェルネス全体の取り組みとして、東日本大震災被災児をサマーキャンプに招待するサンシャインキャンプを実施しました。東YMCAにはデイキャンプに3名、紀泉テントキャンプに2名の方が参加なさいました。5名の方全てが福島県から放射能汚染を逃れて自主避難なさっている方で、4月から東大阪市へ1年の予定で転居なさっている方、もう一組は9月から和歌山へ転居を決めたご家族でした。

彼らのキャンプ中の様子ですが、大阪の子ども達と何の変わりもなく元気に過ごしていらっしやいました。けれども、グループでおしゃべりをしている中で「福島では学校の給食に牛乳出てこないんだよ。」とか「あんまり外で遊んでない。」ということをお口にしていました。そんな些細なやり取りを傍らで聞いている時に、やはり普通の生活ができないこと・子どもたちの置かれている状況も大阪の子どもたちとは違うことを実感させられました。



保護者の方々には、皆、このような機会を与えてくださって感謝していらっしやいました。特に自主避難の方々でしたので、義捐金が手元に届くわけでもありません。経済的に苦しいなかでも、お子様たちの健康や生活のことを考えて非難なさっていらっしやいますので、キャンプに招待していただき子どもたちが思いっきり外で遊べる機会を与えられていることや、関西に来て新しい環境で不安だけれどもキャンプを通して新しい友達が見つかることが出来たという自信につながっていることを、大変喜んでいらっしやいました。そして、子どもたちだけでなく、お子さんをキャンプに送り出された親御さん達も、キャンプから返ってきた我が子の笑顔や元気が励ましとなり、新天地関西での生活や将来のことを前向きに考える勇気付けができたと感じています。

当たり前だと思っていた生活が当たり前ではなくなる者としても貴重な経験をしたこの夏でした。9月1日から5日までは、仙台YMCAのプログラムとして南三陸



地域の子どもたちを対象としたデイキャンプのお手伝いに東Yからも数名参加します。地震が起こってからもうすぐ半年となり、直後よりも気持ちが薄れていることも否めないですが、サンシャインキャンプやキャラバンを通して『今、何が出来るのか』を再度見つめなおしたいと思っています。

メネットのみなさまへお知らせ

メネット会長 伊藤玲子

1) 阪和部合同メネット例会

9月23日(祝日)南YMCA 10時-11時

出席者は伊藤メネットまで、電話、FAX 又は

メール(itosan@apricot.ocn.ne.jp)で9月15日迄

にお知らせ下さい。

2) 河内クラブメネット会：9月15日の河内クラブ例会日、3:30分から。

区メネット事業支援、大震災支援の資金作りに就いてご相談。皆様のお得意の手作り作品をご持参頂き3-4種を候補に選び色々ご意見をお聞きたいと思ひます。



写真は、長崎へ送るペンギン作りに励むメネットのみなさん

近況報告：山内信三君は5月下旬、右膝に人工関節装着の手術をされた。6ヶ月を目途に現在リハビリに努めておられます。仕事には復帰されていますが好きなゴルフは充分やったからと、断捨離。ご自愛を祈る。

今月の強調月間メッセージ
 9月 Menette
 各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めましょう。
 大澤玲子 メネット事業主任

2012/2013年度
BFテレゲート (BF代表) 応募のご案内
IBC ロシア/OZERKIクラブの
みなさんとの交流も?!
【フルグラントの部】
 3~5週間 BFポリシーに定める費用全額補助

BF 番号 12/13 03	期間 2012年9月~10月 目的 クラブ訪問 及び例会等	訪問エリア ア
アジアエリア から	到着地 Hyderabad 出発地 Chennai	インド
BF 番号 12/13 04	期間 2013年5月 目的 クラブ訪問 及び区大会	訪問エリア ア
アジアエリア から	到着地 Honolulu, HA 出発地 Honolulu, HA	USA/ ハワイ区

【パーシャルグラントの部】
 ノルウェーでの国際大会へ出席
 一部補助 850 スイスフラン

BF 番号 12/13 24~26	2012年国際大会	訪問エリア ヨーロッパ/ ノルウェー
アジアエリア から 3名		

以上、応募される方は10月中旬までに区理事または会長宛でご連絡ください。

9月 1日 畠平明子 (乙女座)
 9月 2日 田中加代子 (乙女座)
 9月 3日 杉村 徹 (乙女座)
 9月13日 岩坂千種 (乙女座)
 9月27日 芳澤伸之 (天秤座)
 9月30日 新本英二 (天秤座)

第37期 2011/2012年 クラブ役員
 会長・横田恵子 Yサ・ASF・田中惟介
 副会長・宮本桂子 地域奉仕・佐古至弘
 直前会長・大谷美佐子 EMC ・望月 強
 書記・望月 強 ファンド・新本英二
 芳澤伸之 交流・岩坂正雄
 会計・田中惟介 広報・伊藤圭介
 藤井敬子 メネット・伊藤玲子
 連絡主事・杉村 徹 会計監査・新本英二

会員数	21名
(特別メネット会員数)	1名
8月例会 会員出席者	15名
メイクアップ	1名
8月の出席率	76.2%
ゲスト・ビジター出席数	19名
メネット・コメント出席数	12名
例会出席者総数	46名
役員会出席者数	12名
8月延べ出席者	58名
ニコニコファンド8月	——円
同 今期累計	24,820円

2011 9 Sep. >> 10 Oct. スケジュール

9月 1日(木) ・第二例会 プリテン発送
 16:00~サンホーム 6階

9月15日(木) ・9月第一例会 18:30~
 サンホーム 6階
 ・メネット会 15:30~
 サンホーム 6階

9月17日(土) ・中西部会 Hクライトン新大阪
 13:00~18:00 会費 ¥6000
 「であいで愛」GS 河合達憲氏
 基調講演「よりよいシニア
 ライフを送るために」

・中西部合同メネット会
 ホテルクライトン新大阪
 10:30~12:00 会費 ¥1500
 「カンボジアの子供たちの
 ために」GS:豊嶋美由紀

9月22日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00

9月23日(祝) ・第23回阪和部会 及び
 阪和部合同メネット会
 詳細 5頁参照

10月 6日(木) ・第二例会 プリテン発送
 16:00~ サンホーム 6階

10月10日(祝・月) ・大阪YMCAチャリティラン
 会場 大阪城公園
 詳細は、来月報に掲載

10月15日(土) ・NPO「輪」遠足 外出支援
 行先 東映映画村
 詳細は、来月報に掲載

10月20日(木) ・第一例会 18:30~20:30
 サンホーム 6階

10月27日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00

発行者: 横田恵子 編集者: 丸尾欽造
 HP : <http://kawachi-ys.org/>
 東大阪市御厨南3-1-18 大阪東YMCA内
 大阪河内ワイズメンズクラブ 06-6787-3733